

# 後期高齢者医療制度のお知らせ

## 交通事故など、第三者の行為によりけがや病気になったときは？

交通事故や飲食店での食中毒など、第三者（加害者）の行為によってけがや病気になった場合、治療費は加害者が全額負担するのが原則ですが、被保険者証を使って治療することもできます。その場合、治療費のうち後期高齢者医療制度の負担分については、後期高齢者医療制度が一時的に立て替えて、後日、加害者に請求することになります。

### 第三者の行為とは？

- ・交通事故（自動車・自転車事故など）
- ・他人の飼い犬にかまれた
- ・購入食品や飲食店などでの食中毒
- ・暴力行為 など

### 【申請に必要なもの】

- ・第三者行為による被害届（下記の窓口にあります）
  - ・被保険者証
  - ・被保険者の印かん
  - ・事故証明書（後日でも可）など
- ※詳しくは下記へご確認ください。

### 医療機関に伝えましょう

医療機関に対して第三者行為によるけがなどにより、保険証を使用して治療を受ける旨をしっかりと伝えましょう。

### 警察に届け出ましょう

交通事故のときは、けがの程度が軽くても必ず警察に届け出し、人身事故として事故証明書を出してもらいましょう。

### 市区町村の窓口申請しましょう

法令により、速やかに後期高齢者医療広域連合に届け出をすることが義務付けられていますので、下記の窓口へ第三者行為による被害届の申請をしてください。

### 問い合わせ

北海道後期高齢者医療広域連合  
(☎011-290-5601)

役場住民課年金保険係  
(1階②番窓口☎485-2111内線124)

飲んで美味しい牛乳をさらに美味しく食べてもらいたい！

## 牛乳を食べよう！

～こっくりとした深みがたまらない～



J-milkホームページより提供

### 今月のレシピ きのことさんまのつみれ煮込み

#### 作 り 方

- ①かぶは皮をむいて1個を6等分、長ネギは3cmに切る。きのこ類は石づきを取り、食べやすい大きさにしておく。
- ②さんまは頭と尾、骨を除き、フードプロセッサーに入れ、酒、薄口しょうゆ、塩、片栗粉を加えてすり身状にする。  
※フードプロセッサーがなければ、すり鉢で。
- ③鍋にだしとAを入れ煮立て、②をスプーンですくって落とし、別の鍋で牛乳を温めておく。
- ④③の鍋に①を入れ、かぶが柔らかくなったら温めた牛乳を加え、鍋の縁がグツグツしてきたらすぐ火を止める。塩で味を調えて器に盛り、一味唐辛子を振る。

#### 材 料 (4人分)

- |             |       |          |        |
|-------------|-------|----------|--------|
| かぶ……………     | 4 個   | 片栗粉…………… | 大さじ 1  |
| 長ネギ……………    | 1 本   | だし……………  | 400ml  |
| しめじ……………    | 1 パック | A        |        |
| しいたけ……………   | 4 枚   | 酒・みりん・   |        |
| まいたけ……………   | 1 パック | 薄口しょうゆ   |        |
| えのき……………    | 1 パック | ……………    | 各大さじ 2 |
| さんま……………    | 2 尾   | 塩……………   | 少々     |
| 酒……………      | 大さじ 1 | 牛乳……………  | 900ml  |
| 薄口しょうゆ…………… | 小さじ 1 | 塩・一味唐辛子  |        |
| 塩……………      | 少々    | ……………    | 各少々    |

江本フサ子さん  
(桜)



安田 直幸さん  
(阿歴内)



長寿88歳  
おめでとうございます

《平成29年7月該当》

掲載に同意いただいた方のみ掲載しています。

内容

玄関ドアに2つの鍵があり、片方の鍵が閉めにくくなったため、ネットで「鍵交換の見積無料」と記載のあった事業者へ電話で問い合わせた。金額に納得がいかない場合は断ることも可能とのことから見積もりを依頼した。自宅に来た事業者から「9万円くらいかかるが、もう1つの鍵の鍵穴清掃は無料」と言われ、勝手に鍵穴の清掃作業を始めてしまった。金額が高いと言ったと、6万円にすると言われ、信用できないこと伝えると、鍵穴清掃代として3万円を請求すると言われた。(30歳代女性)

ひとことアドバイス

・契約は双方の合意で成立するため、承諾していないのに勝手に作業を進められたのであれば、契約の不成立

**生活豆知識**  
**事業者の選択は慎重に!**

を主張することができません。見積もりのために呼んだだけなのに事業者に勧誘され、商品やサービスの契約をしたのであれば、特定商取引法の訪問販売に該当し、法律で定められた書面を受け取ってから8日間はクーリング・オフが可能です。

■相談窓口／  
・役場企画財政課商工労働係 (2階) ④番窓口 ☎485-2111 内線251)  
・釧路市消費生活センター (☎0154-2413000)  
・消費者ホットライン (☎188)

**認知症予防講演会のお知らせ**

生き生きとした脳を保つためには、食事や運動などの生活習慣、そして社会とのつながりが大切です。認知症を予防する生活について、東京都健康長寿医療センター研究所 研究員(心理学博士)の宇良千秋氏による講演会を行います。ぜひご来場ください。

■日時／11月10日(金)、午後1時30分～3時

■場所／ふれあい交流センター

■問い合わせ／地域包括支援センター (☎485-1515)

大雨災害義援金募集期間の延長について

7月5日からの九州北部を中心とした大雨により、大きな被害が発生しました。日本赤十字社では、この災害で被災された方々を支援する義援金の募集期間を延長します。なお、受付方法についての変更はありません。

- 募集期間／12月28日(木)まで
- 協力方法／下記係に持参するか、下記口座へ振り込みしてください。

金融機関

三井住友銀行 すずらん支店 普通預金 2787539  
三菱東京UFJ銀行 やまびこ支店 普通預金 2105532  
みずほ銀行 クヌギ支店 普通預金 0620340

口座名義「日本赤十字社」

※金融機関によっては、振込手数料がかかる場合があります。

問い合わせ／日本赤十字社北海道支部標茶町分区分事務局 役場保健福祉課社会福祉係 (1階)④番窓口 ☎485-2111)

医療講演会のお知らせ

日時 / 10月28日(土)  
午後3時～4時20分  
(受け付けは午後2時30分から)

場所 / ふれあい交流センター

- 演題 / 「子どもの成長とは 低身長・肥満について」
- 講師 / 旭川医科大学小児科学講座 棚橋 祐典 氏
- 参加費 / 無料 (申し込み不要)

■その他 / 小学校3年生までのお子さんを対象に、託児室を設置する予定です。利用する場合は、10月20日(金)までに下記へ電話予約が必要です。予約の際は、お子さんの名前・年齢・性別・保護者の連絡先を伝えてください。



■問い合わせ / 町立病院 (☎485-2135)

# 受けていますか？がん検診



がん検診には、さまざまな種類がありますが「がんを的確に発見することができる」と科学的に証明されている方を減らすことができる」と科学的に証明されている検診は、次の5つです。本町では、国が定めた指針に基づくこれらの検診を実施しています。

- 胃がん検診（胃バリウム検査、胃カメラ検査）
- 肺がん検診（胸部エックス線検査、リスクの高い人は喀痰検査を併用）
- 大腸がん検診（便潜血検査）
- 子宮頸部がん検診（細胞診）
- 乳がん検診（マンモグラフィ検査）

がんによる死亡数を部位別にみると、表1のとおり、男女とも胃・肺・大腸がんが上位を占め、この数年、順位が変わっていません。これらのがんは検診の有効性が確立されているので、ぜひ活用しましょう。それぞれのがんの罹患傾向としては、次のとおりです。

- 胃がん：40歳代後半から増加
- 肺がん：40歳代後半から増加し、高齢になるほど上昇
- 大腸がん：50歳代で急増し高齢になるほど上昇
- 子宮頸がん：20歳代後半から40歳前後までに多く、70歳代後半から再び上昇
- 乳がん：40歳代後半から50歳代前半がピークでは、本町で実施している各がん検診の受診状況はどうか。表2・3をご覧ください。年代でみるとどの検診も60～70歳代の方が中心となっています。本町で行うがん検診は、職場などで検診を受ける機会のある方は対象外であるため、このような実態なのかもしれません。早期発見の観点からみると、40歳代の受診が非常に少なくなっています。子宮頸がん検診については、発症の多い20～40歳代の受診が全体の3割にも満たない状況であり、受診を推進していく必要があります。

表1 部位別がん死亡者数

	1位	2位	3位
男性	肺 (53,208人)	胃 (30,809人)	大腸 (26,818人)
女性	大腸 (22,881人)	肺 (21,170人)	胃 (15,870人)

「人口動態統計」確定数（2015年全国）より抜粋

表2 胃・肺・大腸がん検診受診者数と年代の割合（平成28年度）

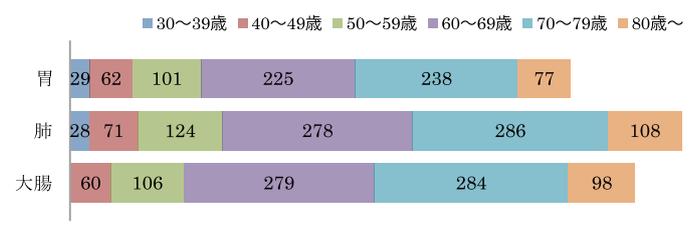
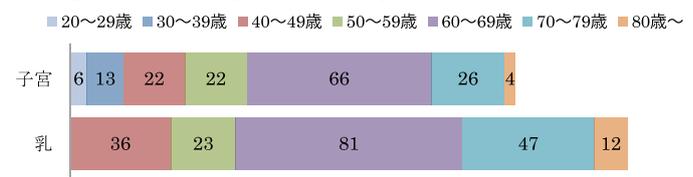


表3 子宮・乳がん検診受診者数と年代の割合（平成28年度）



がん検診の目的は、早期発見し適切な治療を行うことで、がんによる死亡を減らすことです。しかしながら、どの優れた検査でも100%の精度ではなく、精密検査を行った結果、がんではない場合（偽陽性）があります。そのため、がん検診で異常があった場合は、精密検査を受診して本当に病気があるのか確認する、もしくはがんと判定され治療へ進むことまでが、がん検診の一連の流れとなります。検診で精密検査を勧められた時は、必ず医療機関を受診しましょう。また、症状がある場合は検診を待たずに医療機関を受診しましょう。

本町で実施しているがん検診は、11月2日の秋の総合住民健診で受診できます。また、子宮頸がん検診は町立病院と釧路がん検診センター、乳がん検診は釧路がん検診センターで受診することができます。

■問い合わせ／ふれあい交流センター健康推進係  
☎485-1000

## 乳がん・子宮頸がん検診のお知らせ

釧路がん検診センターの乳がん・子宮頸がん検診について、次のとおり送迎バスを運行しますので、ぜひ申し込みください。

○日時／10月19日(木)

ふれあい交流センターを午前10時に出発、午後4時ごろに帰着します。バスルートは、標茶市街～茶安別公民館～阿歴内公民館～がん検診センターを予定しています。

※次回の送迎バスは、11月22日(水)磯分内酪農センターから出発します。

○対象／乳がん検診は40歳以上の方、子宮頸がん検診は20歳以上の方

※ただし、平成28年度に受診していない方。

※がん検診推進事業の無料クーポン券が送付されている方は、ぜひこの機会を利用してください。

○料金／

● 乳がん検診…2,000円

● 子宮頸がん検診…1,000円

※いずれも70歳以上・生活保護世帯の方は無料です。

○申込期限／10月13日(金)

○申し込み・問い合わせ／ふれあい交流センター健康推進係 ☎485-1000

## 町立病院からのお知らせ

標茶町立病院 ☎485-2135

URL <http://www.town.shibecha.hokkaido.jp/hospital/>

**受付診療時間** 受付時間／午前の部…午前8時45分～11時 午後の部…午後1時～3時45分  
 ※自動再来受付機の稼働時間は午前7～11時、正午～午後3時45分です。  
 診療時間／午前9時～午後4時45分

**内科** ●毎週火曜日・水曜日は、午後休診です。(木曜日・金曜日の午後1～2時は、病棟回診のため診察をお待ちいただいております)

**外科** ●北大医学部消化器外科Ⅰから1週間または2週間単位で出張医師が担当します。

●毎週金曜日の受付時間は、午後3時30分までとなります。

**産婦人科** ●町立中標津病院から島野敏司医師が担当します。

●診療日／月曜日の午後

●受付時間／午後1時～3時30分

●予約制となっています。受診日の5日前までに来院時または電話で予約してください。

※予約がなくても受け付けますが、予約の方を優先します。(救急患者を除く)

**リハビリテーション科** ●予約制となっています。新患の方は、医師の診察後に受診日時を予約します。

**小児科** ●旭川医大小児科から出張医師が担当します。

●10月から来年3月まで毎月の診療日数が1日増えることになりました。

## ☆10月の小児科診療受付時間

	一般診療		予防接種 (事前予約が必要です)	
	午前の部	午後の部	13:00～14:00	14:45～15:45
	8:45～11:00	13:00～14:00		
3日(火)	●	休診	● (インフルエンザ以外)	休診
10日(火)	●	休診	● (全ての予防接種)	休診
17日(火)	●	休診	● (全ての予防接種)	休診
24日(火)	●	休診	● (インフルエンザ同時接種含む)	● (インフルエンザ単独接種のみ)
25日(水)	●	●	休診	休診
31日(火)	●	休診	● (全ての予防接種)	休診

## 【予防接種】

《小児科／定期接種》 ●麻しん風しん混合・BCG・ヒブ・小児用肺炎球菌・B型肝炎・四種混合・二種混合・日本脳炎・水痘の接種希望者は、小児科診療日の午前11時までに病院へ電話連絡してください。(ワクチンの準備の都合上、お願いします)

●BCG以外の予防接種は、同時接種が可能です。同時接種の詳細は、病院へ問い合わせください。

《18～20歳未満の日本脳炎》 ●対象の方で接種を希望する方は、1回目の接種はふれあい交流センターへ、2回目以降の接種は町立病院にそれぞれ1週間前までに申し込みください。

《子宮頸がん》 ●定期接種(中学1年～高校1年対象)は、5日前までに病院へ電話連絡してください。  
 ●定期接種・任意接種ともに、産婦人科での診療となりますので、上記日程を参照してください。

《インフルエンザ》 ●小児科は10月10日(火)、一般(高校生に相当する年齢以上)は10月16日(月)から予防接種を開始します。詳細は、広報しべちやの折り込みチラシをご覧ください。

《任意接種》 ●おたふくかぜ、定期接種以外の水痘・65歳以上の肺炎球菌・小児用肺炎球菌・子宮頸がん・麻しん・風しん・麻しん風しん混合・インフルエンザは予約が必要となりますので、5日前までに総合受付窓口または電話で申し込みください。

※定期の予防接種についての詳細は、ふれあい交流センター健康推進係(☎485-1000)へ問い合わせください。

【看護部より】 季節は秋になり涼しくなってきましたが、脱水症状は夏の暑さだけではなく1年を通してさまざまな原因で起こります。秋から冬にかけては、食中毒や感染性の下痢、インフルエンザによる発汗などで脱水の危険性が増します。また、冬場は空気が乾燥し、皮膚から目に見えない水分が知らないうちに奪われ、慢性的に脱水症が起こりやすくなります。季節を問わず、意識してこまめに水分補給をすることが大切です。

＝お願い＝ 町立病院は、救急指定病院として24時間体制で診療を行っていますが、医師の負担軽減のためにも、緊急に診断・治療が必要な方を除き、通常時間帯の受診をお願いします。